

つくば科学フェスティバル2014

「つくば科学フェスティバル」は、小中学生が楽しみながら科学の楽しさや大切さを学ぶイベントとして、つくば市などが毎年開催しています。会場のつくばカピオ(つくば市)では、市内の研究機関や小中学校・高校・大学などが科学実験や体験・展示などのさまざまな企画を出展しています。今年は、11月8日(土曜日)、9日(日曜日)に開催され、2日間で17,500人あまりの来場者がありました。

農環研は、2015年が「国際土壌年」にあたることから「土の不思議」というテーマで、土壌モノリス(土壌標本)を展示したり、土壌小動物の観察コーナーを設けたりしました。また、ブース内で実施した「光る泥だんご作り」を通じ、子どもたちに、土の色や性質が様々であることを学んでもらいました。

(広報情報室)



アグリビジネス創出フェア2014

「アグリビジネス創出フェア」は、農林水産・食品分野の研究成果を広く社会に普及させるため、研究機関と他の研究機関・民間企業との連携を促す場として、農林水産省が毎年開催しているものです。今年は、11月12日(水曜日)から3日間、東京都江東区の東京ビッグサイトにおいて開催され、147機関からの出展、32,069人の参加者(主催者発表)がありました。

(独)農業環境技術研究所は、このフェアの後援団体として出展し、実物展示や説明パネルにより「世界のコムとコムギの豊凶を収穫3ヶ月前に予測する技術」、「カドミウムをほとんど吸収しないイネ品種(コシヒカリ環1号)」、「微粉末活性炭タブレット」などを紹介しました。

(連携推進室長 大倉 利明)

